



きょうのテーマ



はやさアドバイザーの

学ぼう防災

37

春になり、入学や進級をきっかけに、自分一人で登下校するようになって人や、友だちと遊びに出かけるが増えた人もいると思います。そんな毎日の中で、もし大きな地震が起きたら、みなさんはどのように行動すればよいでしょうか。

実はみなさんがいつも歩いている通学路には地震のとき、危ない場所があります。ブロック塀や看板、自動販売機などは

通学路の安全点検

強い揺れで倒れたり、落ちてきたりするかもしれません。地震のときに特に危ないと言われているブロック塀の位置は、宮城県や仙台市のホームページで公開しています。毎日通る道にどんな危ない場所があるのかを、家族と一緒に確認しておきましょう。通学路を歩くとき、地震で倒れそうなブロック塀を見つけたら「地震

のときは近づかないようにしようね」などと親子で声に出して話してみることも大切です。声に出して確認することで、注意するポイントが記憶に残りやすくなります。もう一つ、ぜひ親子で話し合っておきたいのが、地震が起きたときの登下校のことです。大きな地震が起きた場合、子どもたちはすぐに家へ帰れるとは限りません。通学路

や周囲の安全が確認できない時には、学校にとどまる方が安全な場合もあります。状況が落ち着いたら先生と一緒に下校する場合や、保護者に引き渡される場合もあります。こうした対応は、その場の思いつきではなく、子どもたちの命を守ることを最優先に考えて決められています。

だからこそ、「地震が起きたらすぐ迎えに行くのか」「家に帰ってもいいのか」といったことを、事前に家族で話し合っておくことが大切です。学校からの連絡を待つことも、勝手に行動しないことも、大切な備えの一つです。

20日の地震を受け、巨大地震の起きる可能性が普段に比べて高まったとして、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されました。通学路の危険な場所と非常時の行動を改めて家族で確認しましょう。(仙台市防災・減災アドバイザー 坂政人)

危ない場所声に出し確認

新生活の始まりに

子どもと一緒に通学路を歩いて災害時の危ない場所を確認しましょう

洪水や津波の想定浸水域
ブロック塀
がけ崩れ

災害時の
①避難場所
②集合場所
③連絡方法
家族で話し合おう!

地震に備えて、子どもに教えておきたいこと

クイズ の空欄を埋めてね

問1 倒れそうなブロック塀には こと

問2 地震の際は、身を低くし、 を守ること

答えは7面にあるよ!

イラスト・本郷由紀子

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

この日 何の日

◇26日(日) チョルノービリ原発事故発生
ウクライナのチョルノービリ(チェルノブイリ)原発事故が発生してから丸30年の日なんだよ。大量の放射性物質が飛散し、広範囲を汚染したんだ。この影響で多くの人が自分の家に住めなくなったんだ。

きょうの紙面

- 2面 やさしいにほんごニュース
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 Let's try 防災クッキング